



寒地土木研究所一般公開、盛況のうちに終了！

企 画 室

平成18年度（第24回）の寒地土木研究所一般公開を7月14日（金）・15日（土）の二日間に渡り、開催しました。両日とも天候に恵まれたこともあり、今年の来場者数は1,682名と過去最高を記録しました。

この一般公開は、当研究所が日常行っている調査・研究・開発業務等を行政機関や研究者といった専門分野の方のみならず、学生や一般市民の方々などにも、広く理解していただこうと昭和58年から毎年開催しているものです。

今年4月に当研究所は独立行政法人土木研究所と統合し、独立行政法人北海道開発土木研究所から独立行政法人土木研究所寒地土木研究所となりました。寒地土研（かんちどけん）という略称を皆様に知っていただきたいという意味を込めた「かんどう、ちしき、どきどき☆はっけん」のキャッチフレーズのもとに、各チーム・ユニットがどのような研究をし、どのように北海道に役立っているかをパネルの展示やクイズ、体験コーナーの設置など工夫を凝らして、来場者に研究紹介を行いました。

今年は各チーム・ユニットとも体験コーナーに力を入れたことにより、特に子供が目立ちました。「セメントで遊ぼう」（耐寒材料チーム）、「ラジコンボートによる波の体験」（寒冷沿岸域チーム）、「サーモグラフ」（寒地道路保全チーム）は、テレビのニュースで紹介され、会場アクセスなど電話による問い合わせが多数ありました。

来場者の皆様にはアンケートをお願いしました。今後とも皆様から頂いたご意見をもとにさらに皆様に親しまれる研究所を目指して参ります。多数のご来場ありがとうございました。来年もまた、より多くの皆様のお越しをお待ちしています。

・・・一般公開の様子・・・



受付



賑やかな催し物テント前

寒地構造チーム



地震動体験

耐寒材料チーム



コンクリートの圧縮試験

寒地地盤チーム



遠心力載荷装置の説明

防災地質チーム



石にお絵かき

寒地河川チーム



ダムの仕組み

水環境保全チーム



蛇行復元模型

寒冷沿岸域チーム



ラジコンボートによる波の体験

水産土木チーム



海の生きものと遊ぼう

寒地交通チーム



ランブルストリップス体験

雪氷チーム



視程障害移動観測車

寒地道路保全チーム



サーモグラフ

資源保全チーム



標本展示

水利基盤チーム



用水路の補修工法の説明

地域景観ユニット



北の道ナビ体験

水素地域利用ユニット



水素発生装置・燃料電池ラジコン



テレビ取材の様子



子供に大人気だった着ぐるみ



正門前の看板